

くまもと戦跡ネット出前平和講座実施計画案

令和7年9月3日版
くまもと戦跡ネット 高谷和生

1 主 題 地域に残された戦争の傷跡を知ろう！ 戦時資料で体験しよう！ ～長崎修学旅行（11月30日・12月1日）の事前学習～

2 日時・場所 令和7年11月11日（火）2～4時限 9時40分～12時15分
1・2組合同授業 図工室

3 対 象 菊水小学校6年・2学級 50名
1組：松本美保先生、2組：西野先生、にじいろ：前田先生

4 概要・内容

- (1) 学級での事前学習 ※総学「平和学習 平和な世界を築く」
「戦争とくらしの道具」を調べる！ ※班編制等は学校一任
※事前に渡し「10/7（火）頃」、学校職員受取りもしくは高谷持参
- ①「体力省検定規格手榴弾 美津濃謹製」
……学校での体力測定用訓練用手榴弾（陸軍九九手榴弾と同重量・ミズノ製）、実物手榴弾片、陶製手榴弾、訓練弾二種
 - ②「陶製保存容器 防衛食器」
……食品保存用の陶製容器、缶詰め代用品（有田焼）、代用品
 - ③「燈火管制用電灯カバー」
……空襲時の家庭用電灯覆い、灯火管制用マツダ製電球 他
 - ④「紙の爆弾 伝単」
……日本空襲時に投下された伝単各種
 - ⑤「戦時色の強い 子どもの遊び道具と学用品」
……子ども用に作られた檜材での木銃、双六、戦争ごっこ用おもちゃ、戦争かるた

(2) 当日（11/11）の学習日程 等

ア 学校に残された「戦争の傷跡」を歩く、調べる！

※見学先周辺の除草と枝伐採をお願いします。

……9:40～10:10

(ア) 陶製「二宮金次郎像」

□金属供出による「陶器製への代用」、備前焼刻字・銘あり

(イ) 戦没者慰霊の「仰魂（ぎょうこん）」碑

□地域での戦没者への「慰霊の場所・空間」、日露・日独・ノモンハン戦争・日支・太平洋戦争の記銘



校内「金次郎」像の調べ学習の様子

イ 講話 ……10:10～11:10

(ア) 「戦争とくらしの道具」調べの発表

夏休み明け「身近な戦争調べ」疑問点の発表

※図書室『戦争とくらしの事典』ほかを参照

□アイパッド利用学習での各班からの発表

(イ) 赤穂原秘匿（あこうばるひとく）特攻飛行場

□太平洋戦争末期で、特攻攻撃のための秘匿飛行場「陸軍山鹿飛行場」

□戦時証言での「江田国民学校講堂におかれた「大浜飛行場の練習機ユングマン」

□設営部隊として、坂本善三画伯が旧川添国民学校に駐留。本部は江田「正元寺（寺添さん）」



特攻仕様の九三式練習機「薫風隊」
菊池飛行場の戦後接收写真に着色

(ウ) 玉名や熊本への空襲

□玉名への空襲、熊本市への2回にわたる大規模な中小都市空襲

□パンプキン（原爆模擬）爆弾と原爆

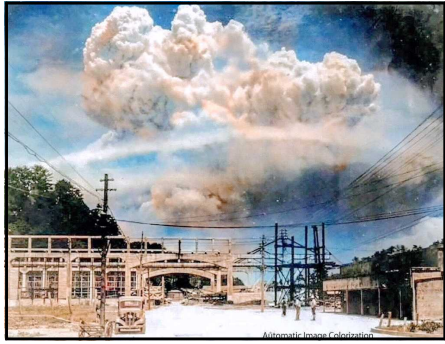
空襲博士ちゃん（ ）、M69焼夷弾、機銃弾、爆弾片の実物

(エ) ナガサキ原爆の惨状、浦田藤枝さん紙芝居「長崎原爆被爆のおはなし ～いのちを大切に、戦争のない世界をつくるために」

□菊水から「原爆はどの様に見えたのか？」

□熊本と長崎原爆の関わり、候補地の16都市の一つ、当日の飛行航路

図書委員他 朗読（ ・ ・ ・ ）



□記憶をよび起こすため、白黒写真をA I カラー可視化での「長崎原爆」復元
□浦田藤枝さん証言の様子 令和6年10月8日 □紙芝居「長崎原爆被害のおはなし」表紙

[休 息]

…11:10～11:20

ウ 戦時資料紹介「当時の服装を体験してみよう！ 空襲にそなえて！」

…11:20～11:50

体験① 戦時・銃後の婦人

「もんぺはどんな着心地かな！ 動きやすい！
防空頭巾で空襲から命を守るの！」

女子児童（ ）

- 女性用もんぺ上・下、防空頭巾四種、愛国婦人会
たすき・徽章、毒ガス防止民間マスク
- 空襲看板、防空サイレン
- 防空演習パネル 二種

体験② 陸軍兵士の軍装品

「陸軍の兵隊さんは こんな服装だった！
これで戦争を！」

男子児童（ ）

- 陸軍鉄かぶと、軍服上着、軍靴、たこ足背囊、
毛布、飯ごう、水筒、旧制中学生訓練用教練銃
- 陸軍行軍・戦闘パネル 二種



オ 感想発表・まとめ

…11:50～12:10

- 長崎だけで戦争があったのではなく、身近な場所に
「戦争の傷跡」が残されていることに気づく！
- 空襲という戦争の究極が「原爆」投下！
- 被爆地「ナガサキ」とのはじめての出会い！
紹介 『トランクのなかの日本』と
ローマ法王「平和のメッセージ」カード
- 「NAGASAKI 平和な世界に向けて」
「絶対、二度と戦争をおこしてはいけない！」

□陸軍兵士軍装の着用
□防空頭巾・もんぺ等の着用

5 備考

- 9/2（火）14時から、菊水小で松本先生と打合せ
- 学校よりくまもと戦跡ネットへの公文での依頼文発送
- 金次郎像・仰魂碑周辺は、事前に枝払い等を行う。
- 報道機関へは、菊水小学校及びくまもと戦跡ネットの双方
から依頼等を行う。



図書委員による朗読の様子



連絡先
くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷 和生
□〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
□携帯 090-1513-5528
□メールアドレス takayanagi912@yahoo.co.jp
□会HP https://kumamoto-senseki.net/

高谷和生さん(右端)から二宮金次郎像の説明を受ける菊水小6年生



戦争の跡、校内にも

平和の尊さ 児童学ぶ

市民団体 菊水小で出前講座

市民団体「くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク」による出前平和講座が24日、和水町の菊水小であった。6年生52人が校内にも戦争の跡が残っていることを学び、平和の尊さについて考えた。

講師を務めたネットワーク代表の高谷和生さん(70)は初めに、校内にある石碑「仰魂碑」と陶器製の二宮金次郎像を紹介。日露戦争から太平洋戦争までの地元の戦死者名が刻まれた碑の前に「戦争はずっと繰り返され、私たちの身近にあった」と児童に語りかけた。像については、戦時に武器の原料とするため銅像が供出され、陶器製に替わった歴史を伝えた。

戦時中の資料や記録写真を見せ、熊本空襲の被害のほか、米国が原爆使用に至るまでの経緯も説明した。講座は長崎への修学旅行の事前学習だった。杉村旭陽さん(11)は「熊本に1万1千トンの焼夷弾が落とされたことや、熊本が原爆投下の候補だったことを知ってとても驚いた。もっと平和のことを学びたい」と話した。(宮上良二)